

設立趣意書

1. 名称：印旛地域蘇生教育協議会

2. 設立の背景と目的

印旛地域では、毎年 100 人以上の方が心肺停止で救急搬送されています（印西地区消防組合ウツタインデータより）。急な心停止となってしまった方を救命するには、できるだけ早く心肺蘇生（胸骨圧迫心マッサージ等）を開始し、電気ショックと呼ばれる処置を行うことが重要です。心臓突然死の多くは、病院の外で発生することから、このような方を救命するためには第一発見者となる一般市民の方に、心肺蘇生法や自動体外式除細動器（AED）を使った救命処置技術を身に付けていただく必要があります。日本で救急車が到着するまでの平均的な時間は約 8 分です（平成 28 年度総務省）。心臓突然死の原因である心室細動は除細動までの時間が 5 分を過ぎると急速に生存率が減ってしまいます。このあいだに胸骨圧迫による心肺蘇生や AED を使用することで確実に生存率は上がります。

平成 29 年 10 月 1 日より千葉県 AED 条例が施行され、蘇生教育を普及するための土台が作られました。印旛地域では、以前より病院や消防署では定期的に蘇生教育が実施されていますが、医療の専門職を対象とすることが多く、一般市民の方への働きかけは積極的ではありませんでした。そこで、救急患者の救命率の向上を目的として、地域のニーズに合わせた蘇生教育（心肺蘇生術、救急患者に対する応急手当等）を提供する「印旛地域蘇生教育協議会」

を設立いたします。

3. 主な活動内容

本協議会の活動内容は以下の通りです。

① 各種救命講習会の提供ならび質の保証、情報提供、マッチング

下記の各種救命講習会の提供を行う。加えて、印旛地域において開催される講習会の情報を集約し提供する。

i. 一般市民向け救命講習会

- PUSH コース：PUSH プロジェクト（大阪ライフサポート協会）
- 救急患者に対する応急手当講習会
- 普通救命講習

ii. 医療従事者向け ICLS（千葉北総 ICLS）、AHA コース 等

② 蘇生教育に関する指導者の養成

上記、講習会を安定して提供できるよう指導者を養成する。

③ 蘇生教育用教材の提供ならびに情報提供・集約

心肺蘇生、AED 活用の普及のため教育用教材・器材提供（無償）：上記講習会開催に限る。

④ 社会貢献活動

- i. 市民セミナー開催（年1回）
- ii. 会報、ホームページによる啓発活動
- iii. 地域スポーツイベントへ医療ボランティアスタッフ派遣 等

⑤ 蘇生科学に関する研究活動及び応急手当に関する簡易コースの開発

- i. 印旛地域における救命率の公表（年1回）
- ii. 救命率向上のための社会システムの検証 等
- iii. 一般市民のための応急手当に関する簡易コースの開発

以上